

夏季の女兒既製ドレスの研究 (第3報)

— 所持数ならびに好みの型について —

谷 山 和 美

A Study on the Summer, Ready-made for Girls (Report 3)

—(The wardrobe and the types of clothes)—

Kazumi TANIYAMA

I. 緒 言

衣服の所持数からは、巨視的に見れば国内の経済状態を把握することができ、また微視的に見れば個人の経済力・服装への関心度・生活水準・生活環境などを知ることができると思う。夏季の女兒既製ドレスの所持数においても、これと同じことが考えられる。

そこで広島地方における夏季の女兒既製ドレスの所持数を知ることによって、夏季の女兒既製ドレスの購入状態がわかり、その上服装についての関心度も知ることができると考えて実態調査を行なってみたところ、購入目的や購入動機や耐用年数などを推察することができ、また型については、女兒と母親の好みなどを比較することができ、色々とおもしろいデータを得ることができた。

II. 調 査 目 的

夏季の女兒既製ドレスの所持数は、何枚ぐらいだろうか。またこれを平均してみると、何枚ぐらいになるだろうか。年間を通して、何枚ぐらい購入され、そのうち何月頃が一番購入率が高いか、またその購入の目的がいかなるもので

あるか。購入動機は、どんな時だろうか。またこれらを、どれほどの期間着用しているかを知り耐用年数を検討してみた。

型についての好みの調査は、どんな身頃のシルエットを女兒は好み、母親は好んでいるか。現在どんなシルエットのドレスを所持しているかを知り、女兒と母親との好みの比較を試みた。これによって、女兒は果たして好みのシルエットのドレスを着用しているか。母親の好みにおしつけられていないかなど知るのが大きな目的である。以下、衿型・袖型についても、シルエットについての調査と同じ目的をもっておこなったものである。

III. 調査時期および調査対象

調査は、「夏季の女兒既製ドレスの研究」(第2報)(参考文献3)と同時にこなったものである。したがって、調査時期は昭和42年7月初旬である。また調査対象は、広島市およびその周辺に居住している2才から10才までの女兒をもつ主婦と、その女兒250名を無作為抽出法により抽出したものである。女兒および主婦の年齢構成は、第1表ならびに第2表を参考にさせていただきたい。これらを見ると、収入面において

(その2) 現在所持しているドレスの袖型はどれですか、枚数を記入して下さい。

スタイル番号	1	2	3	4	その他
所持しているドレスの袖型の枚数					

(その3) 現在所持しているドレスのシルエットはどれですか、枚数を記入して下さい。

スタイル番号	1	2	3	4	その他
所持しているドレスのシルエットの枚数					

も現金収入者が大部分であり、ほぼ標準的なサンプルが得られたものといえよう。

IV. 調査方法

調査方法は参考文献3におけるものと同様である。つまり、無作為抽出法によって抽出された女兒と、女兒を持つ母親に直接面会し、アンケート用紙の質問事項を調査員が直接本人に質問して記入したものである。アンケートの質問事項は、第1表の如くである。

V. 結果および考察

〔夏季の女兒既製ドレスの所持数について〕

近年各種の既製服は、非常に一般化して進出しているが、夏季の女兒既製ドレスも他製品におとらぬように利用されている。夏季の女兒既製ドレスが、いかに一般の需要者に利用され親しまれているかについては、第1報(参考文献2参照)ですでに明らかなように、夏季の女兒既製ドレスを多少にかかわらず利用しているものが圧倒的に多く、女兒全体の97.5%と恐るべき数を示している。このように利用されている夏季の女兒既製ドレスを第2表の如く、調査人員250名の女兒について調べてみると、所持延数は1516枚の多数にのぼった。

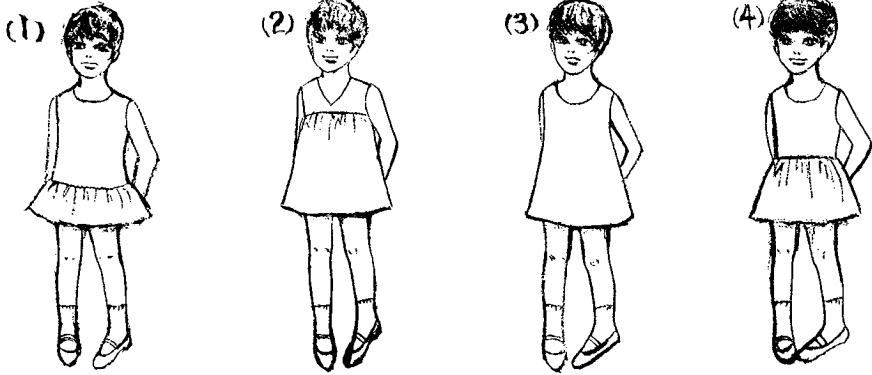
この調査は夏季の女兒既製ドレスのみについての調査で、夏季のものは安価に布地も入手で

き、また近頃はパターンも多く使われるようになって、簡単に仕立てられるようになり、洋裁縫製の知識のない母親でも家庭で縫い上げて着用させているもようで、既製服と限定しなければもっと多くの所持数になると考えられるが、今回は既製ドレスのみについて検討してみた。手軽に入手できる夏季の女兒既製ドレスの所持数も、女兒一人についてみると、わずか1枚しか所持していないもの、5枚、10枚、15枚と所持しているもの、また常識では理解できぬ枚数の20枚、最高28枚も所持しているものがあり、所持数の差は非常に大きいことがわかった。収入のほとんどが「食」に使われるような生活をしているものは、おのずから衣生活が乏しくなるのは当然なことであるし、環境によっても所持数は多いに左右されると思われる。たとえば、住む場所についても考えられることで、立派な建物の中で生活するものはその雰囲気にとけ込み、服装にも気をつけるようになる。したがって必然的に所持数も多くなっていくのではなかろうか。

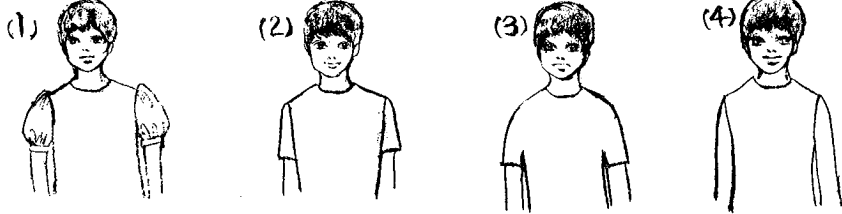
また子どもの服装に非常に興味を持っている母親の着衣心理の中には、食べるものは食べなくとも服装だけはさっぱりしてやりたいというものや、母親自身はあまり服装にはかまわなくても子どもだけにはセンスのいい、布地のよい服を度々とりかえて着用させてやりたいと願

第一表 参考スタイル画

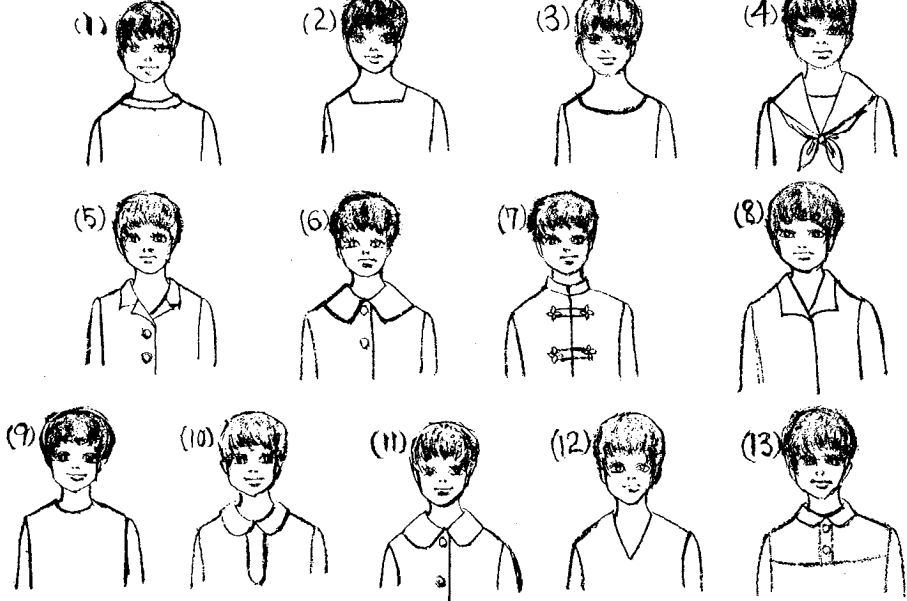
身頃のシルエット



袖の型



衿の型



第2表 調査対象となった女兒の年令別の夏季の女兒既製ドレスの所持数

所持数(枚)	女兒年令(才)										所持数(枚)	女兒年令(才)									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	2		3	4	5	6	7	8	9	10		
1	2	1	1	0	1	4	0	1	0	16	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
2	4	2	5	5	3	1	1	4	3	17	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
3	4	5	2	1	1	2	3	2	7	18	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
4	3	4	3	2	5	1	3	2	3	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	7	4	3	6	3	6	3	2	4	20	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
6	1	3	1	4	2	2	2	2	1	21	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
7	0	3	4	3	0	1	3	2	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	3	2	3	0	1	4	0	1	3	23	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
9	6	1	0	0	1	1	1	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
10	6	4	0	2	1	1	1	0	0	25	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
11	0	0	0	1	0	1	1	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	1	0	0	1	0	0	0	1	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
13	0	0	1	1	2	1	0	0	0	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
14	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	4	0	2	1	2	2		
15	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0											
											計 1516枚										

っている母親もあるのではなからうか。

したがってこの所持数の差は、各人の生活程度・生活環境・その他服装への関心などによって生じてくるものと思われ、生活水準のパロメーターともいえるだろう。

しかし女兒一人の夏季の女兒既製ドレスの所持平均枚数は、第3表でみられるように、年令別にはあまり大差がない。全体の夏季の女兒既製ドレス所持数の平均値も、主婦一人のワンピース所持数の平均値4.6枚(参考文献1)を上まわる6.1枚という数になる。これらはわれわれの常識で理解できる程度の枚数である。子どもの衣服の所持枚数のどの分野からみても、ほとんどのものは、大人にくらべてよごれがひどく、洗たくを度々しなくてはならないので、必然的に所持数が多くなるのではないかと思われる。

さて、これらの調査対象となった女兒が所持しているドレスを購入した時期・目的・動機などについてみよう。購入の時期は、昭和42年の調査(7月に行なわれたために1月～6月まで

の間に購入したものについての数である)では調査した250名で6カ月間に521枚購入し、42年の6月までには、すでに一人平均2枚を買って求めていることになる。広島地方气象台で広島地方の6月末の平均気温を、しらべてみると22.4度くらいなので、夏季のものを着用する時期に達しているためであろう。後にもくわしく述べるが、7月以後にも、まだ買う予定をたてているものがあるので、42年の所持数は、この数より大幅にふくれあがり、所持数の1,516枚はもっともっと多くなるものと思われる。

第3表 年令別にみる夏季の女兒既製ドレス 1人所持枚数平均値

年令(才)	1人所持平均枚数
2	6.9(枚)
3	6.3
4	5.7
5	6.2
6	6.1
7	5.2
8	7.1
9	5.8
10	4.9

第4表 現在使用できる夏季の女兒既製ドレスの購入年別所持枚数
(注42年6月までの購入分)

購入年度	年齢(才)		2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	枚数	人数											
42	1	7		2	5	4	2	5	3	3	4	35	
	2	8		7	4	4	6	7	4	5	4	49	
	3	6		6	2	5	3	2	4	2	2	32	
	4	5		2	0	4	0	2	1	0		14	
	5	4		0	3	3	1	0	0	0		11	
	6	1		2	2	0	0	1	1	0		7	
	7					1	1			0		2	
	8						0			1		1	
	9		126	68	46	94	35	39	54	41	18	0	521
	10								1			1	
	11								1			1	
	12											0	
	13											0	
	14			1		1				1		3	
	15					1						1	
16	1										1		
23	1										1		
41	1	5		5	2	5	2	5	3	6	2	35	
	2	7		8	8	8	6	6	5	3	8	59	
	3	3		9	6	6	7	7	7	2	4	51	
	4	4		2	1	1	1	2	1	2	1	15	
	5	4		1	2	2	1	1	0	2	2	15	
	6	1		3	1	2	1	1	1	1	1	11	
	7	2			2	0	0		0	0	0	4	
	8	2				1	2	1	1	1	0	8	
	9		128	92	70	83	76	1	59	62	50	65	685
	10					1	1		1			3	
	11											0	
	12											0	
	13	1		1								2	
	14											0	
	15	1									1	2	
16													
40	1	0		8	1	4	6	3	3	5	5	35	
	2	2		0	4	2	3	3	4	3	3	24	
	3			2	2	2	1	3	0	1	1	12	
	4			1	0	1	0	1	2	0	1	6	
	5		22	34	0	1	0	2	1	1	1	6	
	6				2	27	2	34	0	0	29	4	
	7						1		1			2	
	8	1		2								3	
	9											0	
	10	1								1	1	3	
39	1			2	2	3	1	2	2	1	0	13	
	2			0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	3		0	0	8	1	6	1	1	0	0	5	
	4		0	0	4		7	0	1	1	0	1	
	5			0					1		0	1	
	6			1							0	1	
38	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		276	202	147	206	152	140	156	121	116	1516		

購入の年度と枚数は、第4表のようになった。41年以前のもは、着用できるもののみについてのもので、これによってどれほどの期間夏季の女兒既製ドレスが着用できるかも理解することができる。一年前に購入したものは、ほとんど着用できるが、その前の年のものについてはだんだんと着用できるものが少なくなり、3年もたてばほとんど着用しておらず、4年目には1枚も着用していない。小さくなったので人にあげたか、古くなって着用できなくなったのだろうか。

耐久年数については、成長のために着用できなくなってどうにか着られるのが3年ぐらいというのが最大限度のように感じられた。しかし夏の布地で、布のいたみや流行の変化を考えれば、子どもには3年も着せれば十分だと思われる。

43年の1月から6月までの間に購入した枚数を月別に表であらわしてみると、第5表のようになり、やはり6月に入ってから気温の上った時期に買い求めているものがそのほとんどといってよいようである。4月頃に買い求めた母親に、こんな時期になせ買ったかとたずねてみると、行商の人にすすめられて購入したというのがほとんどであった。百貨店や子ども服専門店などで調査してみると、夏季の女兒既製ドレスを店頭に出すのは5月の下旬頃からで、本格的に販売時期になるのは6月に入ってからである。したがって6月には急激に購入枚数が増加している。販売及び購入の最盛期は、第5表及び第6表の7月以後の購入予定でみるように、6月及び7月であるようである。アンケートの中の購入目的の中に記してあるものをひろってみると、7月に購入する目的の中には、一学

第5表 1月から6月までに購入した夏季の
女兒既製ドレス数 (昭和42年)

月別 年齢 (才)	月別						計
	1	2	3	4	5	6	
2	0	0	0	5	11	110	126
3	0	0	0	0	7	61	68
4	0	0	0	1	5	40	46
5	0	0	0	2	7	85	94
6	0	0	0	0	3	32	35
7	0	0	0	0	11	28	39
8	0	0	0	2	7	45	54
9	0	0	0	0	2	39	41
10	0	0	0	0	4	14	18
							521

第6表 7月から12月までに夏季の女兒既製
ドレス購入予定枚数 (昭和42年)

月別 年齢 (才)	月別						計
	7	8	9	10	11	12	
2	44	29	12	0	0	0	85
3	31	19	7	0	0	0	57
4	22	9	3	0	0	0	34
5	37	14	4	0	0	0	55
6	21	4	2	0	0	0	27
7	24	7	0	0	0	0	31
8	19	3	0	0	0	0	22
9	7	9	1	0	0	0	17
10	3	14	2	0	0	0	19
							347

期の終了式に着せてやりたいからというのが、学校に行っているものの親の中には多くみられた。アンケートで8月に入って購入すると答えたもののうち、その購入目的については、夏休みになって田舎のオバアちゃんのところへ遊びに行くためとか、お墓参りにいくというなど、ほほえましいものもあったが、ほとんどの場合は、必要にせまられたから買うという解答があげられていた。つまり小さくなったためとか、色あせたとか、急にどこかへ行かなければなら

なくなったとかなどが多くみられた。9月になって購入したという中には、バーゲンセールを利用して来年着用するのを購入したというのが、ほとんどであった。この点バーゲンセールでは、よくいわれるとおり、中には非常に買い得というようなものもある。流行をおわなければ、これは大変よい衣設計だと思われるが、洋服については非常に流行がはげしいので、この点一考しなくてはいけないことであると考えられる。第6表は、7月にアンケートを行なった時のものであるから、購入予定数のおりに購入されたかどうかは疑問であり、次の調査が必要であると考えられる。

〔夏季の女兒既製ドレスの型について〕

女兒が自分の好きな型を表現し、それを着用

できるようになればどんなにか子ども心にも楽しいだろうか。女兒はどれくらいの年令になれば、自分の着用する洋服の好みをはっきり表現することができるだろうかと、第1表のスタイル画をみて好みのスタイルについて質問してみると、第7表のようになった。これで見ると、好みの型を表現することができるのは、3才からで、2才の女兒は、型の表現をすることは全々できないようである。3才、4才、5才と表現力は増して6才になると、全員が表現できるようになっている。色彩の好みについての表現力の調査（参考文献3）と洋服の型についての表現力は大体同じであり、それにより女兒の成長の度合を計り知ることができる。

そこで、調査の対象となった夏季の女兒既製

第7表 型の好みの表現力 (女兒単位%)

女兒の年令(才)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
表現出来る	0	53.1	76.9	97	100	100	100	100	100
表現出来ない	100	46.9	23.1	3	0	0	0	0	0

服の1,516枚の所持数のうちで、どんな身頃のシルエットの服を持っているかをみると、第8表のようにスタイル3のものが643枚で総数の約1/2弱にあたり、一般に非常にうけている。それについて、スタイル4は全体の約1/3にあっており、スタイル3と、スタイル4でほとんどを占めている。第9表も同じ結果がでている。このスタイルが思いがけず一般に多く用いられているのは、スタイル3は近年婦人用の中にも非常に進出して来ているスタイルであるためである。単純ですっきりしており、とくにウエストラインのはっきりわからない子どもの体型にぴったりといった感じのシルエットであるから

である。その上、用布も少なくてすむ点が受けているようである。しかし、あまり外出用としてはむかない感じであり、外出用としてはスタイル4の方が多く用いられているようである。スタイル2は、少々幼稚な感じがし、スタイル1は、4~5年前までは流行線にのっていたが現在は流行からはずれているスタイルで、したがって、使用数も流行には敏感であることがうかがえる。女兒の所持している洋服のシルエットは、そのまま母親の好みにも関連性があると思われる。第9表のように母親の年令を5才ずつの段階にわけてスタイルを分類してみると、全体的にスタイル3、およびスタイル4が首位を

なしている。第10表のように年令別にスタイルの割合を見るとき、年令で所持している身頃のシルエットは相当変っているようである。スタイル3は、2才、3才、4才、5才、6才までの女兒に多く用いられており、年令が多くなるにつれて所持数は少なくなっている。これと反対にスタイル4は、7才、8才、9才、10才と、年令が多くなるにつれて所持数は多くなり、年令が少なくなるほど、所持数は少なくなっている。スタイル3はスタイル4より年少者に好まれ、スタイル4はスタイル3より年令の多いものに好まれ、着用されている。またスタイル2も年少者に好まれて、年令が増すにつれて少なくなり、2才の場合は10才の場合の約7倍くらい用いられている。スタイル1は、6才に多く用いられているようで、年令的に似合うスタイルだろうと思われる。また母親の年令別に、女兒の所持しているスタイルをみると、スタイル4は、年令の多い母親が子どもの服に多く用いており、スタイル3は、若い母親の子どもが多く用いている。子どもが小さければ、大体母親が若い。したがって第10表と第11表は同じ結果が出ている。

スタイルの中では、衿の型や袖の型なども重要なポイントであろうが、何といたっても身頃全体のシルエットが一番重要なポイントといえるだろう。

女兒のドレスの身頃のシルエットは総面積があまり広くないので一番気を使わなくてはいけない。そして流行を取り入れることも忘れないようにしたいものである。前述のように、夏季の女兒既製ドレスにおいて、洋服の流行が相当反映しているのもみのがせないところである。こんな点からみて夏のおわり頃のバーゲンセー

ルを利用して、来年用を買っておくといった母親の考え方を、経済面からでなく、もっと広い視野から深く考えていただきたいものである。もし流行の線におくれた感じがした時には、少々手を加えてやれば、ぐっと新しい感覚のものに生まれ変わってきて、ちっとも感覚がおくれた感じにならなくなるだろう。かしい母親とはこんなところにも心をくばり、気をまわせる母親のことをいうのではないだろうか。心がけ一つで立派な衣生活が計画でき、実行できると思われる。

第1図は、シルエットの好みを母親と女兒について比較したものである。これをみると、2才の女兒は好みの型の表現ができないが、母親はスタイル3を最も好むシルエットであるといっている。その他、女兒と母親とは極端な好みの差はみられないようであるが、3才のスタイル3、4才のスタイル3、5才のスタイル1、7才のスタイル3およびスタイル2にとくに注目していただきたい。スタイル3は全般的に母親が非常に好んでいるようであるし、女兒自身が目立って多く着用しているスタイルである。この点を考えてみると、母親の好みの型で相当女兒の服の型を決定づけているような感じを受け、色についても女兒の好む色より母親の好む色を非常に多く用いていたのと同じように、母親の好みに片より気味な結果になっている。

いずれにしても、女兒は自分の好きな型を着たいだろうし、母親側からみても、自分の好みの型の洋服をせめて自分の子どもには着てもらいたいという欲望もあるのだろう。親子でも、好みがちがうことは当然であるが、身頃の型についてはほぼ親子の好みに近いように感じた。

第9表 現在所持している身頃のシルエット分類

(母親年令別単位数)

	母親年令 枚数	19~25		26~30		31~35		36~40		41以上		計	
		枚数	単位数	枚数	単位数	枚数	単位数	枚数	単位数	枚数	単位数		
スタイル1	1	3		3		17		5		1		29	
	2	5		5		7		3		1		42	
	3			1		2						9	
	4					1						4	
	5	1	18		16	4	83	2	21	1	8	40	
	6					1						6	
	7					1						7	
	8												
	9						1						9
スタイル2	1	1		15		15		2				33	
	2	2		14		6		5		1		56	
	3	3	29	4	63	6	53	3	21	1	5	51	
	4			2		2						16	
	15	1										15	
スタイル3	1			12		19		12		8		51	
	2	1		10		17		7		1		72	
	3	1		8		18		8		2		111	
	4	3		9		4		2				72	
	5	1		8		11		3		1		120	
	6			4		3		1		1		54	
	7	1	60	1	198	1	246	2	112		27	35	
	8	1		2		2						40	
	9			1		3		1				45	
	10	1		1				1				30	
	11												
	12												
	13	1											13
スタイル4	1	5		17		24		6		3		55	
	2	1		9		17		10				74	
	3	1		7		13		6		3		90	
	4					12		1		3		64	
	5	1		6		6		3		1		85	
	6	1	38	4	117	3	251	2	91		39	60	
	7			1		1		1				21	
	8	1				3						32	
	9	1						1				18	
	10					1				1		20	
	17					1						17	
その他		3	3	5	5	7	7	4	4	1	1	20	
計			148		399		640		249		80	1516	

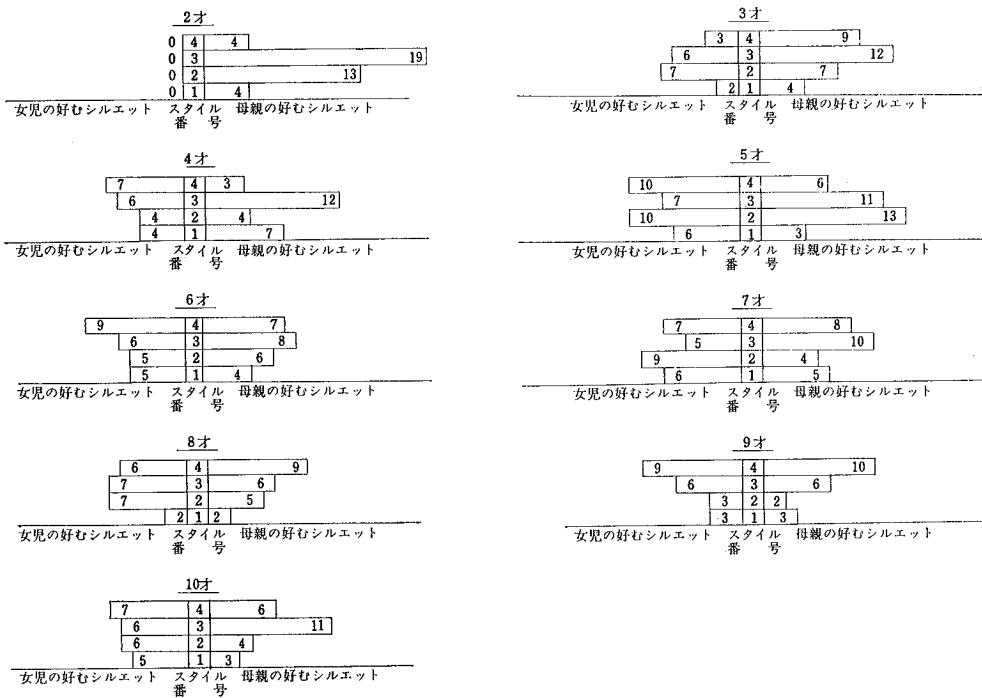
第10表 女兒の所持しているシルエット分類 (女兒年令別%)

	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スタイル 1	8.0	5.6	7.5	10.2	17.3	6.4	5.8	16.5	12.1
〃 2	20.0	14.5	12.2	7.8	11.9	9.3	8.3	5.0	3.4
〃 3	44.0	59.1	38.1	44.7	51.5	38.8	34.6	32.2	24.1
〃 4	27.0	18.8	41.5	34.9	19.3	45.0	47.4	46.3	60.4
その他	1.0	2.0	0.7	2.4		0.7	3.9		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

第11表 女兒の所持しているシルエットの分類 (母親年令別%)

母親年令(才)	19~25	26~30	31~35	36~40	41以上
スタイル 1	12.2	4.2	13.9	8.4	10.00
〃 2	19.6	15.7	9.0	8.4	6.25
〃 3	40.5	49.6	37.0	44.9	33.75
〃 4	25.7	29.3	39.0	36.6	48.75
その他	2.0	1.2	1.1	1.7	1.25
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

第1図 女兒と母親のシルエットの好み較比表 (単位 人数)



第12表 現在所持している夏季の女兒既製ドレスの袖の型の分類
(女兒年令別單位人数)

	年令(才)		2	3	4	5	6	7	8	9	10	計						
	枚数																	
スタイル1	1	8		8	7	6	5	7	3	5	4	53						
	2	6		6	4	7	5	5	3	3	6	90						
	3	7		3	3	1	4	5	1	3	3	96						
	4	0		3	1	2	2	3	5		2	72						
	5	3			2	2	0	1	3			53						
	6		65		41	44	1	47	1	51		49	58	1	27	33	415	
	7																	
	8																	
	9	1																
	10							1										
	11										1							
スタイル2	1	6		3	5	4	7	8	8	3	4	48						
	2	5		9	5	8	4	2	1	1	3	76						
	3	2		1		2	1	3	3	1		39						
	4	4		1		2	0			2		36						
	5			1	1		1			1		20						
	6		48		33	1	26		41		23	21	19	0	35		20	266
	7						1											
	8																	
	9																	
	10	1																
スタイル3	1	3		3	6	2	1	2	3		2	25						
	2	1		3		3	2	1	0	1	9	28						
	3	0		2		0	1	1	3			21						
	4	1				1						8						
	5	0				1					1	10						
	6	1										6						
	7		15		26		6		17		8	7	12		5		13	109
	8																	
	9																	
	10																	
	11				1													
スタイル4	1	5		7	8	3	5	7	5	5	5	50						
	2	6		8	2	5	5	6	4	7	2	90						
	3	6		8	5	5	4	3	2	3	4	120						
	4	6		1	2	3	2	4	4	1	3	104						
	5	1		2	4	2	3	2	2	1	1	90						
	6	5		1	1	4		1	2	0	2	96						
	7	1	148	0	100	0	69	1	99		70	60	1	64	0	54	50	714
	8	2		3		1												
	9	1		1														
	10	1					1											
	11	0						1										
	12	1																
その他				2	2	2	2		3	3	3	3						12
計			276	202	147	206	152	140	156	121	116	1516						

第13表 現在所持しているドレスの袖型の分類
(母親年令別単位人数)

	母親年令 (才)		19~25		26~30		31~35		36~40		41以上		計	
	枚	数												
スタイル1	1	2	33	20	115	23	180	7	62	1	25	53	415	
	2	2		18		16		7		2		90		
	3	3		7		16		3		3		96		
	4	1		7		9		1				72		
	5	1		2		5		3				55		
	6							1				12		
	7							1				7		
	8													
	9	1										9		
	10							1				10		
	11											1		11
スタイル2	1	2	33	14	66	21	102	9	53	2	12	48	266	
	2	5		14		12		7				76		
	3	1		2		7		3				39		
	4	2		2		4		1				36		
	5			2				2				20		
	6							1				6		
	7							2				21		
	8													
	9													
	10	1										1		20
スタイル3	1	2	10	10	26	10	44	2	23	1	6	25	109	
	2	1		2		8		3				28		
	3			4		1		2				21		
	4					1		1				8		
	5							1				10		
	6	1										6		
	7													
	8													
	9													
	10													
	11							1						11
スタイル4	1	1	70	12	191	27	307	9	110	1	36	50	714	
	2	3		15		19		8				90		
	3	1		14		19		5		1		120		
	4	4		8		9		5				104		
	5	2		2		7		6		1		90		
	6	3		5		6				2		96		
	7			1		1				1		21		
	8	2		1		3		1		1		64		
	9			1		3						36		
	10					2						20		
	11			1								11		
	12									1				12
その他		2	2	1	1	7	7	1	1	1	1	12	12	
計			148		399		640		249		80		1516	

女兒が夏の既製ドレスとして持っている袖の型をみると、総数の半分が第12表のように、スタイル4のものである。それは夏の服としては最適のスタイルで涼しくもあり、その上洗たくとか保存に型くずれすることが少なく一般に好まれているからであろう。2位をしめるのがスタイル2である。それは、子どもらしくまたかわいらしくもあり、スタイル1のようなノースリーブでは外出着にはならないが、スタイル2であれば外出着にもなってよろこばれている。スタイル3はあまり利用率が低いのを疑いたくなるが、一見子どもらしさのないスタイルであ

るからだろう。

この袖の夏季の女兒既製ドレスの所持数を年令別にみると、いずれの年令の女兒も第14表のようにスタイル4を一番たくさん所持している。第15表母親年令別の所持数もスタイル4で、特に2才では所持数の半数以上がこのスタイルでしめている。また年令が多くなる程減り気味であるが、なんといってもこれが王者で、他のスタイルにゆずることはできない模様である。9才のスタイル2は、年令的に大人びた傾向のものであろう。10才のスタイル2は割りに低率だが、その反面スタイル3が加わってきて

第14表 女兒の所持している袖型の分類 (女兒年令別%)

女兒年令(才)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スタイル 1	24.6	20.3	29.9	22.8	33.5	35.0	37.2	22.3	28.5
“ 2	17.4	16.3	17.7	19.9	15.1	15.0	12.2	28.9	17.2
“ 3	5.4	12.9	4.1	8.3	5.3	5.0	7.6	4.1	11.2
“ 4	53.7	49.5	46.9	48.0	46.1	42.9	41.1	44.7	43.1
その他		1.0	1.4	1.0		2.1	1.9		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

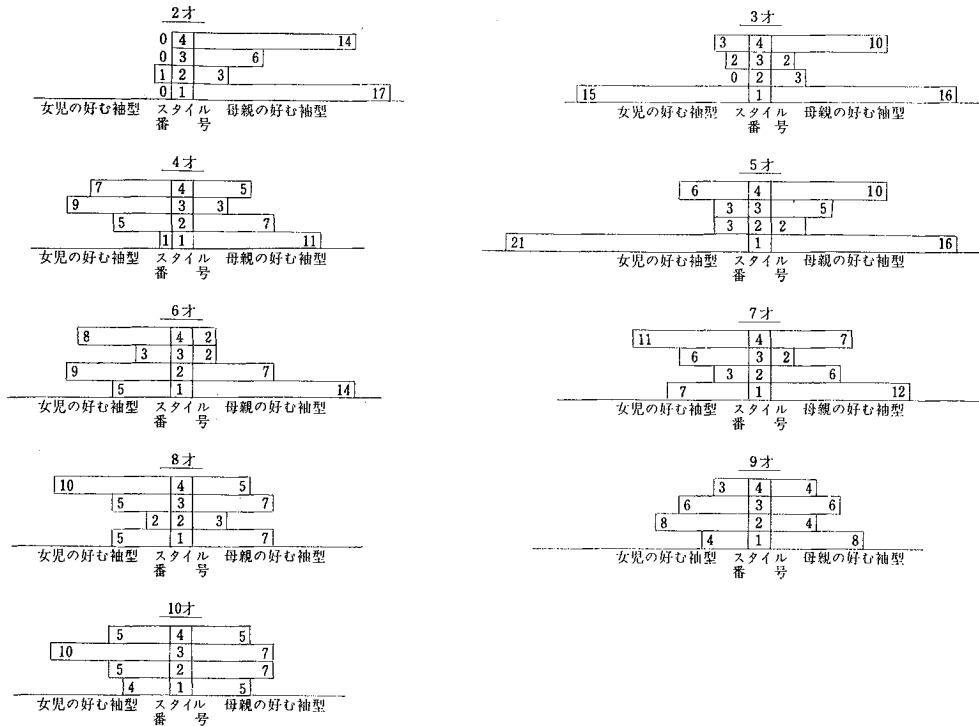
第15表 女兒の所持している袖型の分類 (母親年令別%)

母親年令(才)	19~25	26~30	31~35	36~40	41以上
スタイル 1	22.3	28.8	28.1	24.9	31.25
“ 2	22.3	16.6	15.9	21.3	15.00
“ 3	6.8	6.5	6.9	9.2	7.50
“ 4	47.3	47.9	48.0	44.2	45.00
その他	1.3	0.2	1.1	0.4	1.25
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

おり、年令の多い女兒が子どもらしさから脱皮するのもこんなところにあらわれているものと思われる。好きな袖型としては、全般的にはスタイル1を母親は望んでいる模様である(第2図参照)。4才をのぞいては、ほぼ女兒の好みスタイル1の方に片寄って、母親と女兒の好

みがだいたい一致している。しかし所持している洋服の袖型の一番多いのはスタイル4であるにもかかわらず、スタイル1が一番好きというあたりは希望と実際とにずい分のへだたりがあってもおもしろい。スタイル1が女兒ならびに母親に好感をもたらずのは、なんといってもそ

第2図 女兒と母親の袖型の好み比較表 (単位 人数)



れがかわいらしく感じられ、豪華な感じを与えるからであろう。しかしこの型について注意すべきは、布地がこの型に適したものでないといけないことである。袖の特徴としてふんわりといかにも提灯をぶら下げたようにするためには材質に、裁断に、縫製にと心がけてあいにくい感じを表現できるようにしなくてはならない。好まれる型である場合には、そのかけになみなみならぬ諸条件が含まれている。型よくできなくてはこの袖に魅力はないであろう。

次に、女兒が夏季の既製ドレスとして持っている服の衿型についてみると、最も多く所持されているのは第16表のようにスタイル3で、全所持数の1/3もある。つづいてスタイル9である。スタイル3は、スタイル9より衿ぐりがぐっと大きくあけてあるもので、夏の服だから涼

しさをよぶため多く用いられたのであろう。またここで第1位、第2位、第3位をしめたものを合わせると調査総数の半分をしめるが、これらが全部衿のついていないノーカラーに片寄っていることは注目される点である。衿がついていなければ涼しく感じるし、また実際に涼しいからだろう。これらの型について次位を示すのがスタイル11、ならびにスタイル13である。この二つはよく似かよった衿型で、衿が大きいのと小さいのとの差である。

このような子どもらしいきりりっと衿ぐりにそったようなのが多く用いられている。一番利用率の少ないのがスタイル8で、あまりにも大人っぽすぎる感じがするからだろう。つづいてスタイル7、スタイル12で、これらはほとんど使われていないようである。第16表から察する

第16表 現在所持している夏季の女兒既製ドレスの衿型の分類
(女兒年令別單位人数)

	年令 枚数		(オ) 2		3	4	5	6	7	8	9	10	計									
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2										
スタイル1	1												21									
	2			1		2		2		2		2	20									
	3						3		2				15									
	4							1					4									
	5				4	1	12						5									
	6						1	20		22		4	9	6								
	7																					
	8																					
	9																					
	10								1					10								
スタイル2	1	8		4		5	3	1	4	2	3	3	33									
	2	3		1		4	3	4	5	3	1	2	52									
	3	2		1			2	1		1			21									
	4	1		1				2			1		20									
	5	2	34	1	18		13		20		14		20									
	6												20									
	7																					
	8																					
	9																					
	10																					
スタイル3	1	6		4		10	5	3	8	3	3	1	10									
	2	9		2		6	6	2	3	3	4	4	45									
	3	3		11		1	6	3	6	5	7	5	78									
	4	4		4			1	2	1	7		0	141									
	5	3		4		4	5	1	2	3		0	76									
	6					1	2	2	1				110									
	7		125		77		1	1	1				24									
	8						1	83		29		67	32	26	7							
	9	2												0								
	10	3												18								
	11													30								
	12																					
	13	1												13								
スタイル4	1	6		5	5	2	2	2	2	1		3	23									
	2		6		1	4	2	2	2	1	3	3	4									
スタイル5	1	1				4		1	2	1	4		13									
	2					1	2				2		10									
	3		1				6		1				5									
	4																					
	5								2				1									
スタイル6	1	7		3		4	3	1		2	1	3	24									
	2	1		2		1	3	2	3	3	1	1	32									
	3	2		1		1	9	1	8	1			21									
	4	1							1	9	2	10	5									
スタイル7	1			3	3	2	2	1	1	1	2	2	1	11								
	2	1					1	1	1				1	5								
スタイル8	1	1					1	1	1			1	3	1	4							
	2		3																			
スタイル9	1	5		4		4	5	4	6	2	5	3	38									
	2	6		5		2	2	2	1	1	2	1	44									
	3	2		2		2	1	3	1	2		2	45									
	4	1		1		1	1	1					20									
	5	1		1		1		1					20									
	6																					
	7										1		7									
	8								1				8									
	9												9									
	10							1					10									
スタイル10	1			3		2	4	4	7	4	6	4	34									
	2	1		0		6	1	9	8	2	15	2	24									
	3			1			1	0	0	4	2	2	15									
	4			0			1	1	2	1	1	1	16									
スタイル11	1	5		3		2	4	3	3	2	2	4	26									
	2	3		3		2	2	1	1	0	2	3	34									
	3	5		2		11	1	2		0	2	0	36									
	4			1			0	0		1	0	0	8									
	5					1	1	0		0		1	15									
	6						0			1		0	6									
スタイル12	1						1	1		2		1	5									
	2			1		2		3	1				1	6								
	3										1		3									
スタイル13	1	3		6		4	6	5	6	4	2	2	38									
	2	6		3		3	1	2	0	2	3	1	40									
	3	1		2		1	0	1	1	1	0	1	27									
	4	0		0		18	0	14	0	0	0	0	10									
	5	1		0			0	0	0	0	0	0	0									
	6	0		0			0	0	0	0	0	0	0									
その他	5	5	2	2	1	1	3	1	3	3	3	3	0	0	21							
計			276		202		147		206		152		140		156		121		116		21	1516

第17表 所持している衿型の分類 (母親年令別単位数)

	母親年令(才)		19～25	26～30	31～35	36～40	41以上	計					
	枚数												
スタイル1	1	1	3	6	22	8	39	6	15	1	2	21	81
	2	1		2		3		3		20			
	3			1		3		1		15			
	4			1						4			
	5			1						5			
	6							1		6			
	7												
	8												
	9												
	10							1		10			
スタイル2	1	2	21	14	43	10	50	4	23	3	19	33	156
	2	4		6		10		5		52			
	3	2		1		4				21			
	4	0		1		2		1		20			
	5	1		2				1		20			
	10									10			
スタイル3	1	1	56	16	148	18	246	9	79	1	13	45	542
	2	2		15		19		2		78			
	3	3		6		21		15		141			
	4	2		6		9		1		76			
	5	1		10		9		2		110			
	6					4				24			
	7									7			
	8												
	9	1						1		18			
	10	2		1						30			
	11												
	12												
	13							1		13			
スタイル4	1	4	8	6	6	9	9	2	2	2	2	23	27
	2	2								4			
スタイル5	1	1	1	2	7	7	12	3	13		5	13	38
	2							5		10			
	3												
	4												
	5					1				15			
スタイル6	1	4	14	5	18	12	30	3	19			24	81
	2	2		2		9		3		32			
	3	2		3				2		21			
	4							1		4			
スタイル7	1	3	3	3	3	1	1	4	4			11	
スタイル8	1			1	1	3	5	1	3			5	9
	2					1						4	
スタイル9	1	1	20	9	41	18	101	5	25	5	14	38	201
	2	4		6		8		3		44			
	3	1		4		7		3		45			
	4			2		3				20			
	5					3				20			
	6												
	7												
	8	1								1		7	
	9											8	
	10									1		9	
スタイル10	1			8	20	18	35	6	26	2	8	34	89
	2			1		5		5		24			
	3			2		1		2		15			
	4			1		1		1		16			
スタイル11	1	1	8	6	35	10	54	7	15	2	13	26	125
	2	2		8		5		1		34			
	3	1		3		6		2		36			
	4			1						8			
	5							2		15			
	6							1		6			
スタイル12	1			1	3	1	3	2	7	1	1	5	14
	2			1				1		6			
	3							1		3			
スタイル13	1	1	12	12	45	13	47	10	15	2	2	38	121
	2	4		8		7		1		40			
	3	1		4		3		1		27			
	4												
	5					1				10			
	6							1				6	
その他		2	2	7	7	8	8	3	3	1	1	21	21
計			148		399		640		249		80		1516

第18表 女兒の所持している衿型の分類 (女兒年令別%)

女兒年令(才)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スタイル 1		2.0	8.2	9.7	14.5	2.9	3.9	3.3	7.7
” 2	12.4	9.0	8.8	7.3	13.2	10.0	7.1	11.6	14.7
” 3	45.3	38.1	34.7	40.3	19.1	37.1	42.3	26.4	22.4
” 4	2.3	2.5	2.7	1.0	1.3	1.4	1.9		2.6
” 5	0.3		4.1	1.9	0.6	8.6	0.7	6.6	4.3
” 6	6.9	4.9	6.1	4.4	5.3	6.4	1.4	8.3	4.3
” 7		1.4	1.4	0.5	0.6		0.7	1.7	0.9
” 8	1.1			0.5	0.6			2.5	0.9
” 9	11.6	18.8	12.2	12.6	22.4	7.9	14.2	7.4	9.5
” 10	0.7	3.0	1.4	4.4	5.3	13.6	9.7	10.7	12.9
” 11	9.4	9.4	7.5	7.8	7.2	3.6	7.6	8.3	12.9
” 12		1.0		1.4	0.6		1.4	4.1	0.9
” 13	8.3	8.9	12.1	6.8	8.6	6.4	7.2	6.6	6.0
その他	1.8	1.0	0.7	1.4	0.6	2.1	1.9	2.5	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

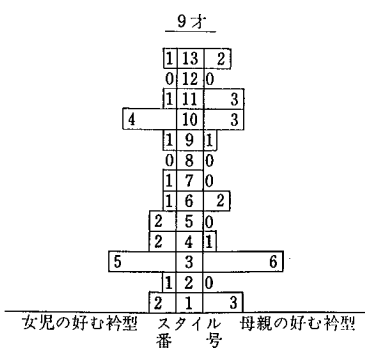
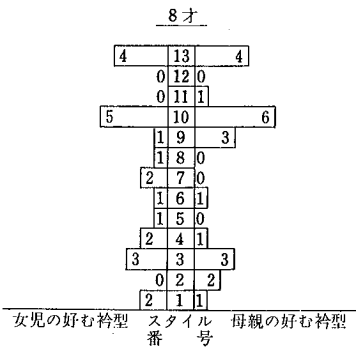
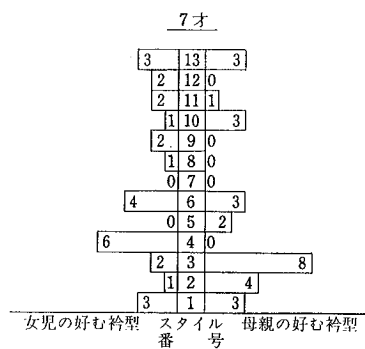
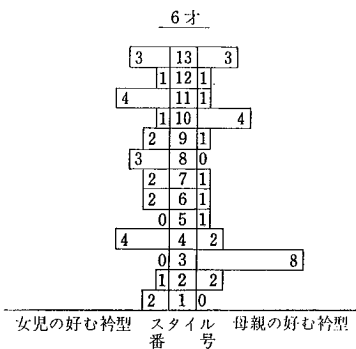
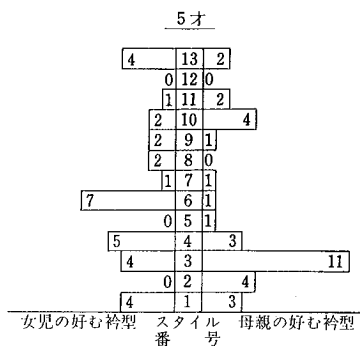
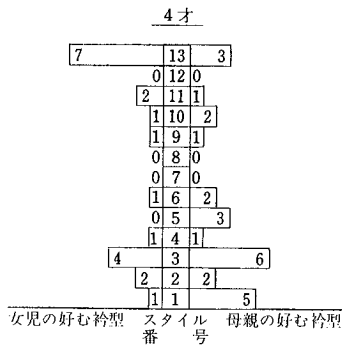
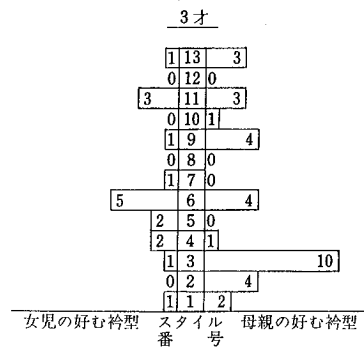
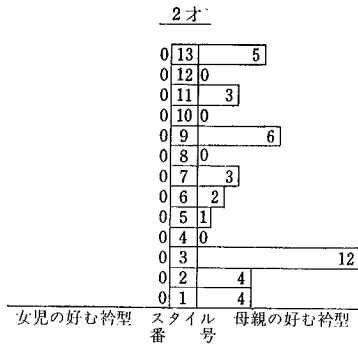
第19表 女兒の所持している衿型の分類 (母親年令別%)

母親年令(才)	19~25	26~30	31~35	36~40	41以上
スタイル 1	2.0	5.5	6.3	6.0	2.5
” 2	14.1	10.8	7.8	9.2	23.7
” 3	37.9	37.3	37.0	31.7	16.25
” 4	5.5	1.5	1.4	0.8	2.5
” 5	0.7	1.7	2.1	5.2	6.25
” 6	9.5	4.5	4.8	7.6	
” 7	2.0	0.7	0.2	1.7	
” 8		0.2	0.8	1.2	
” 9	13.5	10.2	15.8	10.1	17.5
” 10		5.2	5.6	10.5	10.0
” 11	5.4	8.7	8.6	6.0	16.25
” 12	8.1	0.7	0.5	2.8	1.25
” 13		11.3	7.7	6.0	2.5
その他	1.3	1.7	1.3	1.2	1.25
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

と第17表と同じようなことがうかがえるような気がする。第18表は所持しているドレスの衿型の割り合いを年令別にわけてみたものであるが、6才をのぞいて他は全部スタイル3を大変たくさん所持している。6才の女兒は少し衿ぐりのつまったスタイル9を非常に多く所持して

いたが、この年令だけ所持スタイルが食い違ったことに疑問をいだかずにはいられない。スタイル画の書き方の不徹底ではないかと心配である。第16表をみると、スタイル3は、19~40才までの母親の子どもに多く使われているようで、40才以上の母親の子どもには少ない。また

第3図 女兒と母親の衿型の好み比較表 (単位 人数)



10才				
3	13			4
0	12	0		
0	11	0		
3	10			4
	9	2		
	8	1		
	7	1		
3	6	1		
	5			4
3	4	2		
4	3			4
	2	0		
3	1	1		
女児の好む衿型	スタイル 番	母親の好む衿型		

スタイル11は、40才以上の母親の子どもがたぐさんもっている。母親の年齢についての購入状態で、型が片寄っているのも見のがせない点であろう。次に第3図に目を向けてみると、女兒と母親の好みの衿型を知ることができる。どの年齢の女兒を持つ母親も、全部といってよいほど、スタイル3の型が好きとっている。これは今女兒が実際に持っている洋服の衿型と同じである。女兒の方は好みのむらがあり、色々な型に分散している。それは、型の好きとか嫌いとかいうことがはっきりと理解されていないからではないだろうか。いずれにしても全体的に単純なものに片寄っているように感じた。

以上身頃のシルエットならびに袖型・衿型について所持しているものから見たり、またこんな型が好きというのを総合してみると、この大きな三つの場所が互いに平行し、マッチして立派なものに成長するのだらうと思う。第1報ならびに第2報では女兒と母親との好みの意見など相当くい違っていたところが多かったが、今回の身頃のシルエットや袖型、衿型の調査では、女兒との意見がほぼ似かよったものもあってほほえましく思ったこともある。このように相互の好みや意見が合った時、はじめて女兒に理想とする服装をしてやることのできるのでは

なかろうか。

VI. 総 括

夏季の女兒既製ドレスの所持数・購入時・耐用年数・型の好みならびにどんな型を所持しているかなどを広島市およびその周辺に住む2才～10才までの女兒を持つ母親ならびに女兒について、調査したものをまとめてみると、

(1) 夏季の女兒既製ドレスの所持数平均値は、主婦のワンピース一人所持数平均値4.6枚を上まわる6.1枚である。

(2) 夏季の女兒既製ドレスは、購入してから3年もたつと、ほとんど着用していなく、4年目には1枚も使用していない。したがって3年が最大限の耐用年数といえる。

(3) 夏季の女兒既製ドレスを買い求めるのは、年間を通して6月ならびに7月であるが、そのうちでも特に6月に最も多く買い求められているようである。

(4) 型の好みについての表現力は色彩の好みを表現することのできるようになる年齢と大体同年令であった。

(5) 女兒が好む身頃のシルエットは、シフト形のものが多く、母親の好むものと大体同じ型のものであった。

また袖型については、パフスリーブを母親も女兒も好んでいたが、実際に所持している洋服の袖型は、涼しいためか、ノースリーブが多く用いられており、好きな型とは少しちがっていた。衿の型についての好みはノーカラーで、所持しているドレスもノーカラーが最も多かった。

今回の調査によって以上のことを知ることができた。色彩などの調査では、実際に着用して

いる夏季の女兒既製ドレスと、女兒の好みと、母親の好みなどの間で大幅に違いが少なく、型については割り合いに違いが少なく、希望通りといった感じがした。理想とするのは、互いに好みや意見が合ったものを用いるということであろう。こんな点からみて、夏季の女兒既製ドレスの利用は、ますます発展の一路をたどるのではなからうか。

最後に本調査にあたりご指導ご助言いただきました本学の海見綾子教授、ならびに調査にご協力いただいた荒井美弥子嬢ならびに本学学生に厚く謝意を表します。

参 考 文 献

- 1) 岩橋節子：衣生活設計に関する研究 — 主婦の被服所持数について — 家政学雑誌 p. 201, Vol. 13, 1962.
- 2) 谷山和美：夏季の女兒既製ドレスの研究 — 需要調査に基づく新しいデザインについて — (第1報) 広島文化女子短期大学紀要 創刊号 p. 52, 1966.
- 3) 谷山和美・荒井美弥子：夏季の女兒既製ドレスの研究 — 色彩について — (2報) 広島文化女子短期大学紀要 第2号 p. 33, 1968.

Summary

Some information about the summer, ready-made dresses for girls was reported in the 1st and the 2nd reports, which could be considerably used for reference. This time we will discuss a girl's stock of clothes and the types they like. The purposes of this thesis include to investigate how many summer, ready-made dresses a girl has, how long they are used, in what period of the year they are mostly bought, and of 250 girls who have 1,516 dresses altogether, what silhouettes of the body, collar-forms and sleeve-forms are liked. Besides, we want to know what types mothers and daughters like most. Thus we were able to know wearability and utility of girls' summer, ready-made dresses.

The investigation was made at the same time and of the same subjects when the color of the summer, ready-made dresses for girls was made, which was reported as the 2nd report in the Bulletin, Hiroshima Bunka Women's Junior College.

The summary of this report is as follows:

1. The average number of summer, one-piece, ready-made dresses for a girl is 6.1, while that of a house-wife is 4.6.
2. Girls dresses that are three years old are seldom worn; and four years old never. Therefore, three years is the longest wearable period for such dresses.
3. Girls' summer, ready-made dresses are bought in June and July, especially in the former month.
4. The power of expression of types develops about the same age as that of color does.
5. Most girls like sheath-type body silhouette, nearly the same as mothers do; in fact, this type of dresses were most often seen on the streets. As to the sleeve-type, girls and mothers alike preferred puff-sleeves. In the wardrobes they had more sleeveless dresses; this was not commensurate with what they said they preferred. As to the collar-type, most women preferred no collar and most of the stocks had no collar. The above is what was made clear by the recent investigation.

The investigation as to color proved that there were much discrepancies between the preferences of girls and mothers, but as to the type, there was little difference, and many liked the same type. The ideal situation is that both like the same thing. Judging from the above fact, I presumed, the summer, ready-made dresses for girls will sell better and better.